

トピックス

簡易生命保険誕生100年記念・扇面原画展

「一竹内栖鳳から東山魁夷、平山郁夫まで—
美をあふぐ 華麗なる巨匠たちの扇の世界展」

岩島 美月

本展は、平成28年が簡易保険誕生100年にあたる年であることを記念し、かつて簡易保険局で制作された、著名な画家の扇子の原画を前期後期に分けて一挙に紹介した展覧会である。この簡易保険局の扇面原画は、当館収蔵資料の中でも最も貴重なコレクションのひとつといえる。

簡易生命保険が創業されたのは、大正5（1916）年。その創業後まもなく、通信省において、事業功労者への配布用として美しい扇子が制作された。

その扇子の原画は、竹内栖鳳、土田麦僊から東山魁夷、平山郁夫まで、大正から昭和、平成の各時代を代表する日本画壇の名高い巨匠たちによって手がけられており、小さな作品ながら、近代日本美術史の縮図を見るかのような作品群となっている。コレクションは、扇子は大正7（1918）年の松岡映丘「平安時代の長柄の鉋子を持つ女官」から、原画については大正13（1924）年の平福百穂「竹林の隠者」・山村耕花「金魚」から形成され、原画61点（別保管品として整理収蔵されていた堅山南風の扇子原画「飛燕の図」を一連の扇子コレクションの原画として含めるとすると62点⁽¹⁾）、扇子76種を収蔵している。

この扇子の制作が始まった時期や、制作に関する経緯詳細については定かではないが、当館では、簡易生命保険の最初のポスターが制作された時期と同時期、おそらく大正7（1918）年頃から始まったのではないかと推定している。

扇子の制作は、昭和39（1964）年まで続き、その後27年ほど中断されたが、平成3年（1991）年、簡易生命保険創業75周年の記念事業の一環として再開された。この制作再開に際し、原画を依頼する作家について、省内では、日展入賞者、文化勲章等受章者、文化功労者、芸術院会員等の中から選出するよう基準が設けられた⁽²⁾。

再開最初の原画は、日本画家小倉遊亀に依頼され、「桔梗」の扇子が完成した。その後も平成12（2000）年までに、上村松篁、平山郁夫、東山魁夷、加山又造などいずれも著名な画家の原画による扇子10点が制作されたが、平成13（2001）年からは、旧原画を再使用した扇子が制作されるようになった。旧原画の再使用から2年後、旧郵政省から旧郵政公社となった平成15（2003）年からは再び制作が中断され、そのまま現在に至っている。

さて、昭和39（1964）年以前（制作中断する以前）の原画については、郵政省に肅然と保管されていたが、平成3年（1991）年の簡易生命保険創業75周年の記念事業の柱として、扇子制作再開とともに原画集の制作と一般公開の展覧会が実施されることとなった。これにより、過

1 当館の簡易保険局の扇子コレクションの従来リストでは、堅山南風の「つばめ」について、扇子本体は存在するものの「原画の収蔵は無し」とされている。が、本コレクションとは別物として当館に保管されていた詳細不明の簡易保険局関係の原画の中に、本コレクションの堅山南風「つばめ」扇子と類似した堅山南風による燕の扇面原画が存在している。本展では、これを本コレクションの扇面原画のひとつとして展示した。

2～4 平成3（1991）年、扇子制作の再開等に携わった元郵政省簡易保険局職員への聴取り調査による。

去の作品群も再び表舞台に登場することになったが、原画は、保管されていた間に傷みが進んでおり、そのままではとても画集制作や展示に耐えうる状況ではなかったため、まず、修復作業が行われた⁽³⁾。当館には、修復された後の原画が収蔵された⁽⁴⁾。

本扇子の制作については、始まりの時期などはっきりしないことも多く、収蔵コレクションについても、扇子は存在するものの原画が不明なもの、原画のみならず扇子本体も不明なものがあり、継続的な調査が今後の課題である。

なお、本展を開催するにあたり、改めて収蔵品を整理し、これまで当館で発表した過去の調査リストの正誤を次の表の通り改訂した。

小稿を記すにあたり、御協力、御教示いただいた、一般財団法人簡易保険加入者協会理事長齋尾親徳氏と簡易生命保険創業75周年の記念事業で扇子制作再開等に携わった元郵政省簡易保険局職員の方に対し、この場を借りて御礼申し上げます。

[表] 郵政博物館収蔵 簡易保険扇子原画 コレクション リスト

	名称	作者	制作年代	西暦	原画の有無	扇子の有無	男女サイズの別
1	長柄の銚子を持つ女官	松岡 映丘	大正7年	1918年	無	有	女物
2※	不詳	結城 素明	大正7年	1918年	無	無	—
3	古銭	小堀 鞆音	大正8年	1919年	無	有	男物
4※	長春花	川合 玉堂	大正8年	1919年	無	無	女物
5	俳句	野田 大塊	大正9年	1920年	無	有	男物
6	蘭	野田 大塊	大正9年	1920年	無	有	女物
7	逆富士	川端 龍子	大正10年	1921年	無	有	男物
8	牡丹	竊木 清方	大正10年	1921年	無	有	女物
9	延年益寿	橋本 関雪	大正11年	1922年	無	有	男物
10	螢	上村 松園	大正11年	1922年	無	有	女物
11	山水	中村 不折	大正12年	1923年	無	有	男物
12	鮎と撫子	池上 秀畝	大正12年	1923年	無	有	女物
13	竹林の隠者	平福 百穂	大正13年	1924年	有	有	男物
14	金魚	山村 耕花	大正13年	1924年	有	有	女物
15	山水	山内 多門	大正14年	1925年	有	有	男物
16	花鳥	荒木 十畝	大正14年	1925年	有	有	女物
17	金魚	竹内 栖鳳	大正15年	1926年	有	有	男物
18	あやめ	竹内 栖鳳	大正15年	1926年	有	有	女物
19	ざくろ	小杉 未醒	昭和2年	1927年	有	有	男物
20	百合	石井 柏亭	昭和2年	1927年	有	有	女物
21	川蟬	福田平八郎	昭和3年	1928年	有	有	男物
22	金魚	福田平八郎	昭和3年	1928年	有	有	女物
23	甘草	長野 草風	昭和4年	1929年	有	有	男物
24	撫子と桔梗	長野 草風	昭和4年	1929年	有	有	女物
25	一瞬千里	小室 翠雲	昭和5年	1930年	有	有	男物
26	一八	小室 翠雲	昭和5年	1930年	有	有	女物
27	牡丹に黄金虫	山元 春拳	昭和6年	1931年	有	有	男物
28	巖に松	山元 春拳	昭和6年	1931年	有	有	女物
29	楓に鳩	榊原 紫峰	昭和7年	1932年	有	有	男物
30	竹に雀	榊原 紫峰	昭和7年	1932年	有	有	女物
31	鮎	土田 麦僊	昭和8年	1933年	有	有	男物
32	あやめ	土田 麦僊	昭和8年	1933年	有	有	女物
33	緑陰投網	川合 玉堂	昭和9年	1934年	有	有	男物

	名称	作者	制作年代	西暦	原画の有無	扇子の有無	男女サイズの別
34	うつぎ	山口 蓬春	昭和9年	1934年	有	有	女物
35	富士雪景	横山 大観	昭和10年	1935年	有	有	男物
36	まんま	小林 古径	昭和10年	1935年	有	有	女物
37	かささぎ	前田 青邨	昭和11年	1936年	有	無	男物
38	あじさい	富田 溪仙	昭和11年	1936年	有	無	女物
39	鶴	橋本 関雪	昭和12年	1937年	有	有	男物
40	おしどり	川端 龍子	昭和12年	1937年	有	有	女物
41	京洛春色	西山 翠嶂	昭和13年	1938年	有	有	男物
42	白百合	安田 靱彦	昭和14年	1939年	有	有	男物
43	ぶどう	松林 桂月	昭和15年	1940年	有	有	男物
44	網打	野田 九浦	昭和16年	1941年	有	無	男物
45※	つばめ	堅山 南風	昭和17年	1942年	有	有	男物
46	柿	奥村 土牛	昭和17年	1942年	有	有	男物
47	けし	山口 蓬春	昭和18年	1943年	無	有	男物
48	百合と薊	堂本 印象	昭和18年	1943年	有	有	男物
49	ばら	川崎 小虎	昭和18年	1943年	有	無	女物
50※	雨蛙	中村 丘陵	昭和19年	1944年	無	無	男物
51	松に雪	福田平八郎	昭和19年	1944年	無	有	女物
52	毒だみと蛙	田中以知庵	昭和20年	1945年	有	有	男物
53	柳につばめ	堂本 印象	昭和21年	1946年	有	有	男物
54	せきれい	三輪 晁勢	昭和22年	1947年	無	有	男物
55	つばき	木村 莊八	昭和23年	1948年	有	有	男物
56	縞ひよ	高間 惣七	昭和24年	1949年	有	有	男物
57	せきれい	山口 華揚	昭和25年	1950年	有	有	男物
58	山と松	不詳	昭和26年	1951年	無	有	男物
59※	(不明)	—	昭和27年	1952年	—	—	—
60	百合	鴨下 晁湖	昭和28年	1953年	有	有	男物
61	萩とバツタ	平井 模仙	昭和29年	1954年	無	有	男物
62	縞あしと赤とんぼ	西山 英雄	昭和30年	1955年	有	有	男物
63	熱帯魚	樋口富麻呂	昭和30年	1955年	有	有	女物
64	青栗	濱田 台児	昭和31年	1956年	有	有	男物
65	おもだか	西山 翠嶂	昭和32年	1957年	有	有	男物
66	首夏	加藤 晨明	昭和32年	1957年	有	有	女物
67	ばら	鈴木千久馬	昭和33年	1958年	無	有	男物
68	桔梗	橋本 明治	昭和34年	1959年	有	有	男物
69	波紋	奥村 厚一	昭和35年	1960年	有	有	男物
70	夏の日	田沢 八甲	昭和36年	1961年	無	有	男物
71	あじさい	松林 桂月	昭和37年	1962年	有	有	男物
72	夏の太陽	朝倉 攝	昭和38年	1963年	有	無	女物
73	花	三岸 節子	昭和39年	1964年	有	有	女物
制作中断							
74	桔梗	小倉 遊亀	平成3年	1991年	有	有	男物
75	矢車草	上村 松篁	平成4年	1992年	有	有	男物・女物
76	河畔涼風	平山 郁夫	平成5年	1993年	有	有	男物・女物
77	青富士	東山 魁夷	平成6年	1994年	有	有	男物・女物
78	朝顔	佐藤 太清	平成7年	1995年	有	有	男物・女物
79	濱邊	高山 辰雄	平成8年	1996年	有	有	男物・女物
80	奥入瀬涼々	奥田 元宋	平成9年	1997年	有	有	男物・女物
81	桜花	片岡 球子	平成10年	1998年	有	有	男物・女物
82	初秋	加山 又造	平成11年	1999年	有	有	男物・女物

	名称	作者	制作年代	西暦	原画の有無	扇子の有無	男女サイズの別
83	朝顔	大山 忠作	平成12年	2000年	有	有	男物
84	緑陰投網 (復刻)	川合 玉堂	平成13年	2001年	昭和9年 原画	有	男物
85	川蟬 (復刻)	福田平八郎	平成14年	2002年	昭和3年 原画	有	男物

※2 作者・結城素明については、同年制作の扇子(松岡映丘)の入っていた袋に記載されていたメモによる。

※4 作者・川合玉堂、作品名「長春花」については、同年制作の扇子(小堀鞆音)の箱のメモ及び添付の解説書による。

※45 本コレクションの原画とは別に当館で保管されていた「簡易保険局・原画」類の中に、本原画と思われる原画が存在。従来リストでは「原画無」としているが、本リストでは、これを本コレクションの原画として記している。

※50 原画・扇子は未発見だが、記録により、作者と名称が明らかである。

※59 資料が無いため、制作されなかったのか、扇子・原画が未発見なのか、不明。

※扇子のサイズについては不明な点が多い。



【展覧会オープニング】



【展覧会会場のようす】

(いわしま みづき 郵政博物館 主席学芸員)